

研究活動目録

令和6年度



愛媛県立医療技術大学
Ehime Prefectural University of Health Sciences

公 的 財 団 研 究 助 成

(令 和 6 年 度)

(単位：千円)

名 称 等	研究代表者	研究テーマ	助成額
令和6年度学術研究助成基金 助成金(基盤研究C)	安川 正貴 分担者： 山田 武司	新規一本鎖抗体作製技術を用いた多機能的 CAR-T細胞療法の開発研究	1200
令和6年度学術研究助成基金 助成金(基盤研究C)	脇坂 浩之 分担者： 金澤 知典	アルコールパッチテストを用いた新たな客 観的リスク評価法の開発	600
令和6年度学術研究助成基金 助成金(基盤研究C)	仲渡 江美	高い感性をもつ子ども(HSC)の表情認知 に関わる神経基盤の解明	400
令和6年度学術研究助成基金 助成金(若手研究)	尾上 智子	瀬戸内海の在郷に暮らすフィリピン人結婚 移民の保健行動に関する医療人類学的研究	487
令和6年度学術研究助成基金 助成金(基盤研究C)	山田 啓之 分担者： 脇坂 浩之	顔面神経再生治療を目的とした鼓室内投与 法における神経保護効果の検討	800
令和6年度学術研究助成基金 助成金(基盤研究C)	森 敬子	顔面清拭による覚醒効果を活かした看護実 践モデルの構築	200
令和6年度学術研究助成基金 助成金(基盤研究C)	徳永なみじ	看護技術修得における自己調整学習方略尺 度の開発	487
令和6年度学術研究助成基金 助成金(基盤研究C)	大野 祐子	効果的なシャドウイング実習に向けた看護 学実習指導ガイド☒病院編	750
令和6年度学術研究助成基金 助成金(若手研究)	北川 恵	胃切除術後患者のカスタムメイド型「食べ 方サポートモデル」のプログラム構築	500
令和6年度学術研究助成基金 助成金(基盤研究C)	入野 了士	住民の強みを活かす出生世代別健康づくり の着想支援デジタルガイド作成	650
令和6年度学術研究助成基金 助成金(基盤研究C)	越智 百枝	アルコール依存症者の家族へのエンパワメ ントプログラムの効果の測定と検証	910

名 称 等	研究代表者	研究テーマ	助成額
令和6年度学術研究助成基金助成金(基盤研究C)	瀬戸 裕一	中堅層不在下での新任期保健師による活動の優先度判断支援ガイドライン開発	650
令和6年度学術研究助成基金助成金(基盤研究C)	中越 利佳	性教育実践者の自己効力感を高める支援プログラムの開発	1500
令和6年度学術研究助成基金助成金(基盤研究C)	今村 朋子	分娩進行を「手」で診て臨床推論につなげる自己学習支援システムの開発	780
令和6年度学術研究助成基金助成金(若手研究)	藤原紀世子	「NICUに勤務する看護師が抱く困難感尺度」の開発	600
令和6年度学術研究助成基金助成金(基盤研究C)	瀧本 千紗	夫婦関係の視点からボンディング障害を予防するプログラム開発のための基礎的研究	700
令和6年度学術研究助成基金助成金(基盤研究C)	石川 桂	医療的ケア児を育てる親が育児に関する意思決定で悩み葛藤した経験の構造化	700
令和6年度学術研究助成基金助成金(基盤研究C)	黒田寿美恵 分担者： 松井美由紀	地域で暮らすがん患者のエンドオブライフ充実に向けた外来-地域看護連携モデルの構築	50
令和6年度学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)	松井美由紀	病院看護職における中間管理者の管理困難感尺度の開発	1500
令和6年度学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)	光井 綾子 永井 庸央 平松 貴子	造血幹細胞移植後長期フォローアップ外来における看護実践能力尺度の開発	650
令和6年度学術研究助成基金助成金(基盤研究C)	宮宇地秀代	災害支援活動を体験した看護師の惨事ストレスからの回復を促すサポートシステムの構築	0
令和6年度学術研究助成基金助成金(基盤研究C)	森 万純	認知機能が低下した高齢がん患者の痛みを見逃さない医療・介護職連携ケアモデルの開発	910

名 称 等	研究代表者	研究テーマ	助成額
令和6年度学術研究助成基金 助成金(基盤研究C)	高橋 博子 分担者： 中西 純子 鳥居 順子 田中 昭子	禁煙外来看護師のための禁煙支援技術ガイドブックの開発	300
令和6年度学術研究助成基金 助成金(若手研究)	瀨 智子	日本人の動的感情処理の特性に基づく認知症予防・表情認知評価バッテリーの開発	120
令和6年度学術研究助成基金 助成金 基盤研究(C)	美間 健彦	sRNAs-CsrA統合制御システムの環境シグナルによる遺伝子発現調節機構の解明	1100
令和6年度学術研究助成基金 助成金 基盤研究(C)	松下 治 分担者： 美間 健彦	細菌性コラゲナーゼのドメイン協働機構解明とその分子基盤に基づく組織新生因子の創出	250
令和6年度学術研究助成基金 助成金 挑戦的研究(萌芽)	玉井 栄治 分担者： 美間 健彦	ウエルシュ菌自己溶菌酵素Acpによる新規ペプチドグリカン分解制御機構の解明	100
令和6年度学術研究助成基金 助成金 基盤研究(C)	相川 淳 分担者： 美間 健彦	Peptide LvによるOA疼痛制御機構の解明と疼痛治療シーズの創出	100
令和6年度学術研究助成基金 助成金 基盤研究(B)	港 雄介 分担者： 美間 健彦	非結核性抗酸菌が抗結核薬に耐性を示すメカニズムの解明と新規治療法開発への応用	700
令和6年度学術研究助成基金 助成金 基盤研究(C)	山田 武司	ヒストン脱メチル化酵素Phf2の制御を介したT細胞抗腫瘍免疫の増強	1690
令和6年度学術研究助成基金 助成金 基盤研究(C)	田野ゆづき 分担者： 山田 武司	小胞体ストレス応答蛋白IRE1 α に焦点を当てたT細胞の抗腫瘍活性の増強	2220
厚生労働省 小児慢性特定疾病児童等の自立支援に資する研究	檜垣 高史 分担者： 石田也寸志	自立支援と移行期医療の連携強化などの調査、解析	200
令和6年度学術研究助成基金 助成金 基盤研究(B)	上別府圭子 分担者： 石田也寸志	AYA世代小児がん経験者移行期準備性促進ピアサポートプログラム開発	100
合	計		21904

学 長

V 学会発表（国内学会）

研究者名	演 題	発表学会名	開催地	開催日
Konishi T, Ochi T, Honda T, Maruta M, Kato J, Nabe S, Miyazaki Y, Doi Y, <u>Yasukawa M</u> , Takasuka Y, Yamanouchi J, Takenaka K.	Conventional CD19 CAR-T cells stimulated with high amounts of tumors show suboptimal functionality	第28回 日本がん免 疫学会総会	東京都	2024. 7 .10 -12
小西 達矢、越智 俊元、 本田 貴嗣、丸田 雅樹、 加藤 潤一、名部 彰悟、 宮崎 幸大、土居 靖和、 <u>安川 正貴</u> 、高須賀康宣、 山之内 純、竹中 克斗	高腫瘍量下で刺激されたCD19 CAR-T 細胞の特徴とその機能解析	第16回 日本血液疾 患免疫療法学会学術 集会	京都市	2024. 7 .26 -27
<u>Yuzuki Tano</u> , Yuya Arakawa, Yuri Tsuchiya, Rina Matsuda, Honoka Miyahara, <u>Masaki</u> <u>Yasukawa</u> , <u>Takeshi Yamada</u>	Enhancement of T cell antitumor activity by suppressing histone demethylase Phf2	第83回日本癌学会	福岡市	2024. 9 .19 -21
Konishi T, Ochi T, Honda T, Maruta M, Kato J, Nabe S, Miyazaki Y, Doi Y, <u>Yasukawa M</u> , Takasuka Y, Yamanouchi J, Takenaka K.	Different functionality of CD19 CAR-T cells after stimulation with various amounts of tumor cells	第86回 日本血液学 会学術集会	京都市	2024.10.11 -13
<u>Yuzuki Tano</u> , Yuya Arakawa, Yuri Tsuchiya, Rina Matsuda, Honoka Miyahara, Ayumi Sumizaki, <u>Masaki Yasukawa</u> , <u>Takeshi</u> <u>Yamada</u>	The role of histone demethylase Phf2 in T cell immune responses and effect of Phf2 deficiency on antitumor activity	第53回日本免疫学会	長崎市	2024.12. 3 - 5

VI 講演

講演者名	演 題	会 等 の 名 称	開催地	開催年月日	対 象 者
<u>安川 正貴</u>	SFTS治療におけるファビピ ラビルの臨床的位置付けと適 正使用	第98回日本感染症学会 学術講演会・第72回日 本化学療法学会総会合 同学会	神戸市	2024.6.27	学会員、感染症 専門医、感染症 学研究者など
<u>安川 正貴</u>	ファビピラビルのSFTSに対 する有効性と安全性に関する 医師主導臨床研究と企業治験 の結果	第6回SFTS研究会	札幌市	2024.9.14	ウイルス学研究 者など

学 部 長

V 学会発表（国内学会）

研究者名	演題	発表学会名	開催地	開催日
牛山 愛友、中西 純子、 <u>松井美由紀</u>	AYA世代乳がん患者への支援に 関連する文献レビュー	日本看護研究学会第50 回学術集会	奈良市	2024. 8

基 礎 教 育

II 論文 (原著)

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
Shinji Iwata, Hiroyuki Yamada, Masato Teraoka, Takemichi Tanaka, Takuya Kimura, Tomonori Joko, Yasuhiko Tabata, <u>Hiroyuki Wakisaka</u> , Naohito Hato	Basic fibroblast growth factor helps protect facial nerve cells in a freeze-induced paralysis model	PLoS One	20	2	e0312357	2025. 2

III 論文 (その他：総説、報告等)

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
<u>Tomoko Onoe</u>	Rethinking Communication in Healthcare Settings in Japan	Journal of Comprehensive Nursing Research and Care	9	2	1-3	2024.10
<u>金澤 知典</u> 、 <u>瀬戸 裕一</u> 、 <u>齋藤 希望</u> 、 <u>鳥居 順子</u> 、 <u>入野 了士</u>	学習時間に基づく思考過程を可視化する学習システムの開発	愛媛県立医療技術大学紀要	21	1	46-52	2024.12

V 学会発表（国内学会）

研究者名	演 題	発表学会名	開催地	開催日
高瀬 慎也、眞田 朋昌、 渥美 潤一、吉田 正、 脇坂 浩之	当科における鼻出血症の治療方 針	第34回愛媛耳鼻咽喉科内 視鏡研究会	松山市	2024. 4 .20
渥美 潤一、眞田 朋昌、 高瀬 慎也、吉田 正、 脇坂 浩之	Lemierre症候群に類似した外頸 静脈血栓症の1例	第81回日本耳鼻咽喉科学 会愛媛県地方部会学術講 演会	松山市	2024. 4 .21
高瀬 慎也、吉田 正、 眞田 朋昌、渥美 潤一、 脇坂 浩之、古賀健一郎	COVID-19感染症に伴う両側急 性感音難聴の1例	第125回日本耳鼻咽喉科 頭頸部外科学会総会・学 術講演会	大阪市	2024. 5 .15 -18
眞田 朋昌、吉田 正、 高瀬 慎也、渥美 潤一、 脇坂 浩之	声門下肉芽を呈した再発性多発 軟骨膜炎	第49回日本耳鼻咽喉科学 会中国四国地方部会連合 会	山口市	2024. 6 . 8 - 9
金澤 知典、入野 了士、 瀬戸 裕一、齋藤 希望、 鳥居 順子	授業連動型Web教材導入によ る地区管理関連知識の学習状況 可視化とその評価	第83回日本公衆衛生学会 総会	札幌市	2024.10.29 -31
林 知樹、吉田 正、 渥美 潤一、眞田 朋昌、 脇坂 浩之	上顎洞血瘤腫症例	日本耳鼻咽喉科学会第50 回四国四県地方部会連合 学会	高知市	2024.12. 8
金澤 知典、富所 雄一、 山田 啓之、脇坂 浩之	アルコールパッチテストにおけ る評価者間の肉眼判定基準に関 する検討	情報処理学会第87回全国 大会	茨木市	2025. 3 .13 -15

VI 講演

講演者名	演 題	会 等 の 名 称	開催地	開催年月日	対 象 者
金澤 知典	SNS・スマホとの上手なつきあい方	「子どものメンタルヘルス」に関する講演会	松山市	2024.9.18	松山市立小野中学校の生徒およびPTA役員
仲渡 江美	教育心理学	令和6年度保健師助産師看護師等実習指導者講習会	松山市	2024.9.19 2024.10.1 2024.10.7	愛媛県下看護職員
尾上 智子	第1部：話題提供：多文化共生時代の医療現場	「多文化共生時代の医療コミュニケーション」セミナー	砥部町	2024.11.30	愛媛県内の看護教員および医療従事者

VII その他の報告

著 者 名	題 名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
尾上 智子(編著)、 仲村 智映	多文化共生時代の医療コミュニケーション	令和6年度地域交流センター事業報告書			編集箇所： 1-70 執筆担当箇所： 4-23, 34-70	2025.3

基礎看護学

II 論 文 (原著)

著 者 名	論 文 名	発表雑誌名	卷	号	頁	発表年月
Kohei Kambara, Akihiro Toya, Sumin Lee, Haruka Shimizu, Kazuaki Abe, Jun Shigematsu, Qingyuan Zhang, Natsuki Abe, Ryo Hayase, Nobuhito Abe, Ryusuke Nakai, Shuntaro Aoki, Kohei Asano, Ryosuke Asano, Makoto Fujimura, Ken'ichiro Fukui, Yoshihiro Fukumoto, Kaichiro Furutani, Koji Hasegawa, Hirofumi Hashimoto, Mikoto Hashimoto, Hiroki Hosogoshi, Hiroshi Ikeda, Toshiyuki Ishioka, Chiharu Ito, Suguru Iwano, Masafumi Kamada, Yoshihiro Kanai, Tomonori Karita, Yu Kasagi, Emiko S. Kashima, Juri Kato, Yousuke Kawachi, Jun-ichiro Kawahara, Masanori Kimura, Yugo Kira, Yuko Kiyonaga (Sakoda), Hiroshi Kohguchi, Asuka Komiya, Keita Masui, Akira Midorikawa, Nobuhiro Mifune, Akimine Mizukoshi, Kengo Nawata, Takashi Nishimura, Daisuke Nogiwa, Kenji Ogawa, Junko Okada, Aki Okamoto, Reiko Okamoto, Kyoko Sasaki, Kosuke Sato, Hiroshi Shimizu, Atsushi Sugimura, Yoko Sugitani, Hitomi Sugiura, Kyoko Sumioka, Bumpei Sunaguchi, Masataka Takebe, Hiroki C. Tanabe, Ayumi Tanaka, Masanori Tanaka, Junichi Taniguchi, <u>Namiji Tokunaga</u> , Ryozo Tomita, Yumiko Ueda, Tomomi Yamashita, Kazuho Yamaura, Masao Yogo, Kenji Yokotani, Ayano Yoshida, Hiroaki Yoshida, Katsue Yoshihara, Ayumi Yoshikawa, Kuniaki Yanagisawa, Ken'ichiro Nakashima	Can Online Interactions Reduce Loneliness in Young Adults During University Closures in Japan? The Directed Acyclic Graphs (DAGS) Approach	Asian Journal of Social Psychology	28	1	1-15	2025. 3

Ⅲ 論文（その他：総説、報告等）

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
香川 里美、徳永なみじ、 野本百合子、北川 恵、 谷本 淳子、森 敬子、 大野 祐子、岡田ルリ子	非同期型動画教材を活用した 基礎看護技術の教育方法の検 討	愛媛県立医療 技術大学紀要	21	1	31-37	2024.12

V 学会発表（国内学会）

研究者名	演題	発表学会名	開催地	開催日
北川 恵、北島 拓真、 齋藤 寛美、酒井 亜月、 山口 亜希子、百合 邦子	日本人若年男性における加熱式 タバコと血管内皮機能障害の調 査	日本循環器病予防学会	東京都	2024.5.9
大野 祐子、岡田ルリ子、 徳永なみじ、野本百合子	指導を必要と知覚した看護学実 習中の学生の行動への看護師の 対処行動	日本看護学教育学会第34 回学術集会	東京都	2024.8.9 -20
岡田ルリ子、上田 裕子、 永易 裕子、寺尾奈歩子、 酒井 淳子、香川 里美、 森 敬子	漢方療法整膚の末梢循環と表皮 角層への影響	第50回日本看護研究学会 学術集会	奈良市	2024.8.24 -25
北川 恵、上杉 裕子、 河田 直海、金澤 卓	幽門側胃切除患者の食べにくい 食事内容と症状との関連	第16回日本栄養代謝学会 第16回中四国支部学術集 会	岡山市	2024.8.31
徳永なみじ、相原ひろみ、 金澤 知典、野本百合子、 前田ひとみ	看護学生が看護技術習得時に用 いる自己調整学習方略尺度の開 発—信頼性・妥当性の検討—	日本看護技術学会第22回 学術集会	札幌市	2024.10.26 -27
徳永なみじ、相原ひろみ、 金澤 知典、野本百合子、 前田ひとみ	看護技術習得における自己調整 学習方略の学年間での活用比較	第44回日本看護科学学会 学術集会	熊本市	2024.12.7 -8

研究者名	演 題	発表学会名	開催地	開催日
内橋 恵、末武友紀子、 神田 由佳、岡本 三佳、 北川 恵、林 真由美、 姫野 雄太、青山ヒフミ	ACPを踏まえた事例の意思決定支援、－OOVL表の作成体験と討論－	第44回日本看護科学学会 学術集会	熊本市	2024.12.7 -8
野本百合子	看護専門学校に所属する看護学 教員の職業的発達に関連する研究の動向	第35回日本医学看護学 教育学会学術学会	岡山市	2025.3.8

VI 講 演

講演者名	演 題	会 等 の 名 称	開催地	開催年月日	対 象 者
野本百合子	看護研究Ⅰ(入門編) 研究テーマの絞り込みと方法	令和6年度社団法人愛媛 県看護協会会員教育	松山市	2024.6.7	愛媛県下 看護職員
野本百合子 徳永なみじ	看護研究Ⅱ 研究デザインと研究方法	令和6年度社団法人愛媛 県看護協会会員教育	松山市	2024.7.19 2024.8.14 2024.10.11	愛媛県下 看護職員
徳永なみじ	看護研究Ⅱ 研究デザインと 研究方法「量的研究の進め方 ～質問紙を作成しよう～」	令和6年度社団法人愛媛 県看護協会会員教育	松山市	2024.8.14	愛媛県下 看護職員
野本百合子	院内看護研究発表会 講評	令和6年度県立今治病院 院内看護研究発表会	今治市 (オンライン)	2024.8.30	愛媛県立今治病 院看護職員
野本百合子	院内看護研究発表会 講評	令和6年度県立中央病院 院内看護研究発表会	松山市	2024.10.4	愛媛県立中央病 院看護職員
野本百合子	看護論(1)～(5) 実習指導案発表会	令和6年度保健師助産師 看護師等実習指導者講習 会	松山市	2024.10.9 2024.10.15 2024.10.16 2024.11.27	愛媛県下 看護職員
野本百合子	新人看護職員研修計画の立案 と評価(1)・(2) 実践報告会 講評	令和6年度新人看護職員 研修責任者・教育担当者 研修	松山市	2024.10.10 2024.10.17 2025.2.5	愛媛県下新人看 護職員研修責任 者・教育担当者

地域・精神看護学

II 論文 (原著)

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
Hisae Suzuki, Yumeno Kondo, Chihiro Oda, Takeshi Nishikawa, Mao Takeuchi, Shigenobu Tatsumi, <u>Sho Hosokawa</u> , <u>Satoshi Irino</u> , Tomoko Uchiyama, Tomomi Fujii, Yoshiaki Norimatsu	Can Mitotic Figures in Hyperchromatic Crowded Groups be Cytodiagnostic Criteria for High-Grade Squamous Intra-epithelial Lesions?	J Cytol	41	2	116-122	2024. 4
<u>Sho Hosokawa</u> , <u>Yoshiaki Norimatsu</u> , Akiko Shinagawa, Tetsuji Kurokawa, Yoshio Yoshida, Takeshi Nishikawa, Hisae Suzuki, <u>Satoshi Irino</u> , Tadao K Kobayashi	Assessment of the localization of chondroitin sulfate in various types of endometrial carcinoma	PLoS One	19	5	e0304420	2024. 5
<u>越智 百枝</u> 、 <u>中平 洋子</u> 、 <u>坂元 勇太</u> 、 <u>疋田 琴乃</u> 、 <u>池田 桜</u> 、 <u>野嶋佐由美</u>	保健師によるアルコール依存症者の家族への解決志向アプローチを用いたエンパワメントプログラムの評価	日本精神保健看護学会誌	33	1	58-67	2024. 6
近藤ゆめの、鈴木 久恵、小田 千寛、細川 翔、 <u>入野 了士</u> 、 <u>祇園 由佳</u> 、西川 武、 <u>則松 良明</u>	核分裂像の視認において、なぜ、免疫細胞化学染色はパパンニコロウ染色よりも容易なのか？—色素学的な要因からの考察—	愛媛県立医療技術大学紀要	21	1	1-6	2024.12
小田 千寛、重松由美恵、近藤ゆめの、細川 翔、 <u>入野 了士</u> 、 <u>祇園 由佳</u> 、 <u>岡村 法宣</u> 、西川 武、 <u>則松 良明</u>	術中迅速細胞診におけるBDサイトリッチ™レッド保存液の応用—標本作製時間の短縮を目指して—	愛媛県立医療技術大学紀要	21	1	7-12	2024.12

Ⅲ 論文（その他：総説、報告等）

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
窪田 静	ケア先進国デンマークと日本のギャップ～リフトをめぐる今昔物語～	Healthcare note	24	6	1-17	2024.10
金澤 知典、瀬戸 裕一、齋藤 希望、鳥居 順子、入野 了士	学習時間に基づく思考過程を可視化する学習システムの開発	愛媛県立医療技術大学紀要	21	1	46-52	2024.12
瀬戸 裕一、仲田 琴美、宮宇地秀代、矢野 弘子、荒川 裕也、入野 了士、高田 智世、竹内 一人、山田 武司、則松 良明	歩行運動の効果測定に血液検査を取り入れた保健事業の官学協働での進め方	愛媛県立医療技術大学紀要	21	1	38-45	2024.12
小笠原裕子、野村美千江、入野 了士、田中美延里	県庁政策部門の保健師による事業化・施策化の過程	四国公衆衛生学会雑誌	70	1	e9-1-10	2025.3

V 学会発表（国内学会）

研究者名	演題	発表学会名	開催地	開催日
河野 瑠奈、鳥居 順子、入野 了士、田中美延里	子育て世代による高齢者見守りの実態とその関連要因	日本地域看護学会第27回学術集会	仙台市	2024.6.30
杉田由加里、田中美延里、米増 直美、小野 志保、栗原 美香、森 絵美	自治体のリーダー保健師の組織マネジメントに関する育成研修の効果評価	日本地域看護学会第27回学術集会	仙台市	2024.6.30
菊岡 直子、越智 百枝、中平 洋子	ひきこもり当事者との関わりにおいて母親の視点から見た家族関係が変化していく経験	臨床実践の現象学会第8回大会	大阪市	2024.8.17
藤田 真子、中平 洋子、越智 百枝	患者から暴力を受けた精神科看護師の心的外傷後成長を生み出す要素	第50回日本看護研究学会学術集会	大阪市	2024.8.24

研究者名	演 題	発表学会名	開催地	開催日
大宮 裕子、窪田 静、 大久保暢子、佐竹 澄子、 松石健太郎、小林由紀恵、 佐藤 彰紘、山田 修平	技術成果検討委員会ポジショニング班企画：座位をアップデートして自立に向けた座位を考えようー仰臥位からの背面開放座位、腹臥位からの退官前傾座位ー	日本看護技術学会 第22回学術集会	札幌市	2024.10.26 -27
金澤 知典、入野 了士、 瀬戸 裕一、齋藤 希望、 鳥居 順子	授業連動型Web教材導入による地区管理関連知識の学習状況可視化とその評価	第83回日本公衆衛生学会	札幌市	2024.10.29 -31
入野 了士、宮宇地秀代、 瀬戸 裕一、仲田 琴美	チーム対抗歩行運動を導入した就労世代対象健康づくりプログラムの評価	第44回日本看護科学学会 学術集会	熊本市	2024.12.7 -8
岡崎あずさ、谷口 美穂、 芝 瞳、松浦 嵩輝、 瀬戸 裕一、入野 了士	鬼北町における尿ナトカリ比検査導入による高血圧予防対策	令和6年度四国公衆衛生 研究発表会	松山市	2025.2.7
石川 由美、田中 昭子、 入野 了士、田中美延里	ピア・コーチングを活用した県新任保健師の現任教育の可能性	令和6年度四国公衆衛生 研究発表会	松山市	2025.2.7
森 眞弓、秋山 友紀、 玉井 奈央、弓達 純子、 續木 太智、瀬戸 裕一、 入野 了士	Q-SACCS を活用した発達障がい児・者の地域支援体制づくり	令和6年度四国公衆衛生 研究発表会	松山市	2025.2.7
越智 百枝、坂元 勇太、 中平 洋子、池田 桜、 疋田 琴乃、滝澤加代子	アルコール依存症者の家族へのエンパワメントプログラムの効果ープログラム受講1年後の一事例の家族の変化ー	日本看護研究学会中国・ 四国地方会第37回学術集 会	松山市	2025.3.9
瀬戸 裕一、仲田 琴美、 矢野 弘子、宮宇地秀代、 荒川 裕也、入野 了士、 高田 智世、竹内 一人、 山田 武司、則松 良明	歩行運動の効果測定に血液検査を取り入れた保健事業の官学協働での進め方	日本看護研究学会中国・ 四国地方会第37回学術集 会	松山市	2025.3.9
杉田由加里、田中美延里、 米増 直美、森 絵美、 小方 恵子、越智 奏枝	自治体のミドルマネジャー保健師の組織マネジメントに係る研修にピア・ラーニングを取り入れた効果	文化看護学会第17回学術 集会	千葉市	2025.3.16

VI 講 演

講演者名	演 題	会等の名称	開催地	開催年月日	対象者
越智 百枝	アルコール依存症の回復を支える家族のかかわり	徳島県断酒会家族一日研修会	徳島市	2024.6.2	アルコール依存症者の家族
窪田 静	美須賀の秘密 ノーリフトからケアの質へ	美須賀病院「生きる力を支えるケア」出版記念講演会	今治市	2024.6.2	出版記念講演会 講演会参加者
瀬戸 裕一	プリセプター保健師が新人とともに学びあう～多様化する保健現場から～	令和6年度地域保健保健師等研修会（プリセプター前期研修）	松山市	2024.6.17	県内市町及び保健所等に勤務する保健師
田中美延里	新任期保健師研修の課題説明～ねらいと取り組み支援～	令和6年度地域保健保健師等研修会（プリセプター前期研修）	松山市	2024.6.17	県内市町及び保健所等に勤務する保健師
奥田 美恵	日常活動の中での地域アセスメント	令和6年度地域保健保健師等研修会（本庁実施分）新任期保健師研修前期研修	松山市	2024.6.28	愛媛県内の新任 期保健師
田中美延里	ポートフォリオの特徴と活用方法	令和6年度地域保健保健師等研修会（本庁実施分）新任期保健師研修前期研修	松山市	2024.6.28	愛媛県内の新任 期保健師
窪田 静	ケアの場におけるノーリフティングケア	目白大学大学院コミュニケーション看護学特論2	埼玉県 (リモート)	2024.7.19	目白大学大学院 生
入野 了士	四国中央市の元気の秘訣は？～みんなでトーク！わたしのまちの健康～	「知っ得！ゼミ」「健康づくりサポーター養成講座」	四国中央市	2024.7.31	四国中央市民の方
高島 恵、 入野 了士、 丸山 広達	愛媛県の現状とデータの活用方法（演習）	令和6年度中予ビックデータ活用強化事業等研修会	松山市	2024.8.5	中予保健所管内 市町の地域保健・福祉関係担 当職員
越智 百枝	ソリューション・フォーカスト・アプローチの理論と実際	令和6年度保健師研修会	高松市	2024.8.5 2024.10.23	高松市保健師

講演者名	演 題	会等の名称	開催地	開催年月日	対象者
松原美智子、 伊木 智子、 入野 了士、 氏原 将奈、 草野恵美子、 塩川 幸子、 高橋 郁子、 田場真由美、 萩原 智代、 山田 小織、 岩本 里織	公衆衛生看護学教育モデル・ コア・カリキュラムの改訂に 向けて	第39回全国保健師教育機 関協議会夏季研修	Web開催	2024. 8 .24	全国で保健師教 育に従事する者
入野 了士	保健師活動を見える化して伝 えよう	西条保健所第2回地域保 健保健師等研修会	西条市	2024. 8 .26	西条保健所管内 の各市町及び保 健所の保健師、 栄養士等
杉田由加里、 田中美延里、 米増 直美	リフレクションを活用した自 己課題への取り組み成果の共 有(演習)	令和6年度愛媛県リー ダー保健師育成研修会 (フォローアップ)	Web開催	2024. 8 .27	県及び市町に勤 務するリーダー 期の保健師(令 和5年度リーダ ー保健師育成研 修会受講者)
入野 了士	保健活動の評価とその実践に 向けて	令和6年度保健師スキル アップ研修会	砥部町	2024. 9 .18	県内市町及び保 健所等に勤務す る保健師
入野 了士	活動報告作成のコツ	令和6年度保健師スキル アップ研修会	砥部町	2024. 9 .18	県内市町及び保 健所等に勤務す る保健師
入野 了士	伝わりやすいプレゼンの仕方	令和6年度保健師スキル アップ研修会	砥部町	2024. 9 .18	県内市町及び保 健所等に勤務す る保健師
入野 了士、 田中美延里、 奥田 美恵、 瀬戸 裕一、 河野 瑠奈	保健師活動の見える化とプレ ゼンテーションを体験してみ よう(演習)	令和6年度保健師スキル アップ研修会	砥部町	2024. 9 .18	県内市町及び保 健所等に勤務す る保健師

講演者名	演 題	会等の名称	開催地	開催年月日	対象者
越智 百枝	家族が元気であるために	アルコール問題を考える 家族のつどい	高松市	2024.9.20	アルコール依存 症者の家族
入野 了士	働き世代の健康づくりに向け た地域・職域連携	今治保健所ビックデータ 活用地域・職域連携強化 研修会	今治市	2024.9.20	今治保健所管内 の各市町及び保 健所の保健師、 栄養士、事業所 等
入野 了士	看護研究Ⅲ 抄録・パワーポ イント・論文作成のコツ	2024年度愛媛県看護協会 研修	松山市	2024.11.14	愛媛県内の看護 職員
奥田 美恵	日常活動の中での地域アセス メント～アクションプラン シートの活用方法～	令和6年度地域保健保健 師等研修会（本庁実施 分）新任期保健師研修中 期研修	松山市	2024.11.19	愛媛県内の新任 期保健師
奥田 美恵、 田中美延里、 入野 了士、 瀬戸 裕一	地区特性の感知力を高める～ 気づきとアクションプラン シートを用いて～（演習）	令和6年度地域保健保健 師等研修会（本庁実施分） 中期新任期保健師研修	松山市	2024.11.19	愛媛県内の新任 期保健師
窪田 静	ノーリフティングケアはwin- win-win！ 先進国では当 たり前 アジアも追いつけ追い 越せ ... どうする？ 日本 のケア？！	第2回府北東支部研修会	大阪府 （リモート）	2024.12.3	大阪府看護協会 北東支部会員
越智 百枝	頑張っている自分をほめるこ との大事さ	依存症家族教室	松山市	2024.12.16	依存症者の家族
瀬戸 裕一	市町実践プラン報告様式作成 のポイント	令和6年度発達障害支援 研修会:3局合同ネット ワーク会議に向けた市町 説明会	松山市	2024.12.16	県内市町の保健 師等
窪田 静	福祉用具の必要性和腹臥位に おける方法	第28回日本統合医療学会 シンポジウム5 看護と統 合医療～熱布バックケア とそれを支える福祉用具 と腹臥位の技術～	宇都宮市	2024.12.20	第28回日本統合 医療学会参加者

講演者名	演 題	会等の名称	開催地	開催年月日	対象者
瀬戸 裕一	認知的徒弟制をもとにプリセプティの主体的に考える力を育成する	令和6年度地域保健保健師等研修会（プリセプター後期研修）	松山市	2024.12.20	県内市町及び保健所等に勤務する保健師
田中美延里	新任期研修の課題への取り組み支援	令和6年度地域保健保健師等研修会（プリセプター後期研修）	松山市	2024.12.20	県内市町及び保健所等に勤務する保健師
窪田 静	ケア先進国デンマークと日本のギャップ 抱え上げない介助がケアの質を高める「ノーリフティングケア」 ～病院や施設に「リフトが無い」のは「水道が無い」ようなもの～	Medical SARAYA ノーリフティングケア 実現のためのWebセミナー 再配信 ～介助の業務負荷軽減とQOL向上に向けて～	大阪府 (リモート)	2025.1.15 -2.28	セミナー応募者 (専門職対象)
奥田 美恵、 田中美延里、 入野 了士、 瀬戸 裕一	地区特性の感知力を高める～ 気づきを基にしたアクション プラン展開シートを用いて～ (演習)	令和6年度地域保健保健師等研修会（本庁実施分）後期新任期保健師研修	松山市	2025.2.21	愛媛県内の新任期保健師
窪田 静	「福祉用具が回復過程をアシストする -基礎編-」	第12回日本ニューロサイエンス看護学会学術集会 教育講演	横浜市	2025.3.1	第28回日本統合医療学会参加者
窪田 静	「福祉用具が回復過程をアシストする -実践編-」	第12回日本ニューロサイエンス看護学会学術集会 イブニングセミナー	横浜市	2025.3.1	第28回日本統合医療学会参加者
入野 了士	国保データを活用した住民の健康推移可視化の新たな試みについて	愛媛県中予保健所健康づくり実践ワーキングチーム会議	松山市	2025.3.3	中予保健所健康づくり実践ワーキングチームメンバー

VII その他の報告

著者名	題名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
入野 了士、岡村 法宣、 瀬戸 裕一、則松 良明、 竹内 一人、高田 智世、 祇園 由佳、宮宇地秀代、 高橋 博子、仲田 琴美、 矢野 弘子	eスポーツ地域生きがいつく り推進事業効果測定実施およ び検証結果報告	2024(令和6)年 度eスポーツ地 域生きがいつく り推進事業効果 検証報告書			1-27	2025.3
齊藤 功、丸山 広達、 淡野 寧彦、入野 了士、 岡田 克俊	介護保険データによる要介護 認知症に関する集計、レセプ ト分析、特定健康診査の項目 別集計	令和6年度愛媛 県ビッグデー タ活用県民健康づ くり事業デー タ分析報告書			1-312	2025.3

母性・小児看護学

I 著 書

著 者 名	著 書	発行年月	出 版 社 名	担 当 頁
細尾 萌子、小田 初美、 副島 和美、倉本 孝子 (編著)、 <u>今村 朋子</u> (共著)	看護・助産師教育に活かすパ フォーマンス評価ワークブック	2024.06	創元社	103-110

III 論 文 (その他：総説、報告等)

著 者 名	論 文 名	発表雑誌名	卷	号	頁	発表年月
山下 玲子、 <u>中越 利佳</u> 、 <u>豊田ゆかり</u>	妊婦の禁煙支援を継続する助産 師の思いの構造	母性衛生	65	4	593-601	2025. 1
<u>豊田ゆかり</u> 、枝川千鶴子、 野村 佳代、 <u>石川 桂</u>	医療的ケア児の普通小学校への 就学支援の一事例	地域ケアリング	27	1	67-70	2025. 1

V 学会発表（国内学会）

研究者名	演 題	発表学会名	開催地	開催日
松本 吏加、 <u>中越 利佳</u> 、 <u>瀧本 千紗</u>	我が国の妊娠期からの切れ目ない産後うつ支援に関する文献検討	第80回日本助産師学会	東京都	2024. 5 .17
<u>瀧本 千紗</u> 、 <u>中越 利佳</u>	1歳児を養育する母親の夫婦関係、ボンディング、抑うつの関連	第80回日本助産師学会	東京都	2024. 5 .17
<u>豊田ゆかり</u> 、 <u>野村 佳代</u> 、 <u>石川 桂</u> 、 <u>枝川千鶴子</u>	医療的ケア児の就学までの取り組み（その2）～地域の小学校の場合～	日本小児看護学会第34回 学術集会	大阪市	2024. 7 . 6 - 7
<u>石川 桂</u> 、 <u>豊田ゆかり</u> 、 <u>藤原紀世子</u>	医療的ケア児を育てる親が育児に関係する意思決定で葛藤した経験	第29回日本在宅ケア学会 学術集会	鎌倉市	2024. 8 .24 -25
<u>中越 利佳</u> 、 <u>瀧本 千紗</u> 、 <u>岡崎 愉加</u>	キャッチアップ世代におけるHPVワクチンに対する思いとワクチン接種に関する課題 ーフォーカスグループインタビューの分析からー	日本思春期学会第43回学術集会	神戸市	2024. 8 .24 -25
<u>瀧本 千紗</u> 、 <u>越智奈穂美</u> 、 <u>中越 利佳</u>	1歳児を養育する両親のボンディングと夫婦関係(1) 母親の視点から	第50回日本看護研究学会 学術集会	奈良県	2024. 8 .25
<u>越智奈穂美</u> 、 <u>瀧本 千紗</u> 、 <u>中越 利佳</u>	1歳児を養育する両親のボンディングと夫婦関係(2) 父親の視点から	第50回日本看護研究学会 学術集会	奈良県	2024. 8 .25
<u>瀧本 千紗</u>	子育て期のボンディングを予測する因子：妊娠期の夫婦関係からの検討	第38回日本助産学会学術集会	オンライン	2024.10. 5
<u>藤原紀世子</u>	NICUに勤務する看護師が抱く困難感	第33回日本新生児看護学会・学術集会	松本市	2024.11. 9 -10
<u>瀧本 千紗</u> 、 <u>中越 利佳</u>	1歳半児を養育する両親のボンディングを予測する因子：夫婦関係の側面からの検討	第44回日本看護科学学会 学術集会	熊本市	2024.12. 7

研究者名	演題	発表学会名	開催地	開催日
池田こころ、尾澤 由菜、 川西 楓、瀧本 千紗、 中越 利佳	障がい児に対する性教育への困難感—文献検討から—	日本看護研究学会中国・四国地方会第37回学術集会	松山市	2025.3.9
山口 美香、宮本 華音、 長 依理加、中越 利佳、 瀧本 千紗	愛媛県の産後ケアにおける現状と課題～文献検討と愛媛県の実態調査から～	日本看護研究学会中国・四国地方会第37回学術集会	松山市	2025.3.9
赤根映里子、伊藤由香里、 瀧本 千紗、中越 利佳	乳児を養育する父親の育児の課題に関する文献検討	日本看護研究学会中国・四国地方会第37回学術集会	松山市	2025.3.9
伊藤由香里、赤根映里子、 瀧本 千紗、中越 利佳	大学生のプレコンセプションケアの課題に関する文献検討	日本看護研究学会中国・四国地方会第37回学術集会	松山市	2025.3.9
高橋 凛音、稲田 明花、 石川 桂、豊田ゆかり	A大学における小児のプレパレーションに対する看護学生の認識と体験の関係	日本看護研究学会中国・四国地方会第37回学術集会	松山市	2025.3.9
赤根映里子、伊藤由香里、 瀧本 千紗、中越 利佳	乳児を養育する父親の育児の課題に関する文献検討	日本看護研究学会中国・四国地方会第37回学術集会	松山市	2025.3.9
伊藤由香里、赤根映里子、 瀧本 千紗、中越 利佳	大学生のプレコンセプションケアの課題に関する文献検討	日本看護研究学会中国・四国地方会第37回学術集会	松山市	2025.3.9

VI 講 演

講演者名	演 題	会 等 の 名 称	開 催 地	開 催 年 月 日	対 象 者
中越 利佳	思春期の心と体、命の誕生	砥部町思春期教室	砥部町立広田小学校	2024.5.21	小学5年生 教職員
			砥部町立麻生小学校	2024.5.28	
			砥部町立宮内小学校	2024.6.3	
			砥部町立砥部小学校	2024.6.4	
中越 利佳	中学3年生のあなたに伝えたいこと 性を大切にー大切な自分と相手を守るためにー	砥部町思春期教室	砥部町立砥部中学校	2024.6.21	中学3年生、 教職員
今村 朋子	活動報告「愛媛県立医療技術大学助産学専攻科 助産師になるためのカリキュラム」	助産師職能交流会 「学び合い・育ちあう助産師になろう」	愛媛県看護協会	2024.7.13	県内の助産師
中越 利佳	学校、家庭における性の指導や教育について	四国中央市学校保健協会	四国中央市市民文化ホール	2024.8.22	保護者、教職員
中越 利佳	いのちのバトン、あなたのいのちは誰のもの	中予保健所 エイズ 等教育講演会	愛媛県立上浮穴高等学校	2024.9.10	高校1年生、 教職員
			愛媛県立伊予農業高等学校	2024.11.1	
中越 利佳	母性看護学	令和6年度保健師、 助産師、看護師実習 指導者講習会	愛媛県看護協会	2024.10.28	臨地実習指導者
中越 利佳	生命誕生 男女交際 「いのちの大切さ」	伊予市思春期教室	伊予市立中山中学校	2024.11.8	中学2年生 教職員、保護者
			伊予市立双海中学校	2024.11.20	
中越 利佳	思春期の子どもの心と子育て	松山市学校保健会第2部支部	松山市立たちばな小学校	2024.11.11	松山市学校保健会第2支部の保健主事、 養護教諭、教職員、保護者
井上 明子	生命誕生 ～命の大切さ～	第2学年思春期教室	伊予市立 港南中学校	2024.11.15	中学2年生 教職員

講演者名	演 題	会 等 の 名 称	開催地	開催年月日	対 象 者
今村 朋子、 井上 明子、 瀧本 千紗、 和泉千恵子、 赤根映里子	R6 八幡浜産科救急研修	産科救急研修	八幡浜市	2024.11.19	八幡浜管内の 救命士ほか、 消防関係スタッ フ
中越 利佳	性に関する指導講演	松山市学校保健会第 1支部研修会	松山市立東雲小学校	2024.11.28	小学6年生児 童保護者 松山市学校保 健会第1支部 教員
瀧本 千紗	生命誕生 男女交際 「いのちの大切さ」	伊予市思春期教室	伊予市立伊予中学校	2024.11.29	中学2年生 教職員
中越 利佳	性とどう向き合うか	第2学年思春期教室	松山市立津田中学校	2024.12.4	中学2年生 教職員
中越 利佳	性とどう向き合うか	第1学年思春期教室	松山市立道後中学校	2024.12.6	中学1年生 教職員
井上 明子	生命誕生と交際 ～いのちの大切さ～	第1学年思春期教室	砥部町立砥部中学校	2025.2.7	中学1年生 教職員
今村 朋子	会陰縫合研修会	院内研修会	まつやま助産院	2025.2.21	県内の助産院 勤務の助産師
今村 朋子	自然なお産の守り人：助 産師	夢ナビ講義Video	オンデマンド	2025.2.27	夢ナビ参加の 全国の高校生
石川 桂	How to get the Grants ～ 研究/活動資金調達プロ セスを進めた経験から～	日本看護科学学会 (JANS) 第7回 中四 国エリア検討会	岡山大学鹿田キャン パス基礎医学棟1階 多目的講義室	2025.3.15	全国に看護系 大学の教員お よび医療従事 者

VII その他の報告

著者名	題名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
中越 利佳	20歳代女性の未来を守る子宮頸がん検診テラード啓発プログラムの開発	令和6年度科学研究助成事業 研究成果報告書				2025. 3

成人・老年看護学

II 論文 (原著)

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
Masumi Mori, Eri Ikeda, Kimie Fujita	Validation of the Japanese version of Algoplus® for the assessment of acute postoperative pain in older patients with cancer	Japan Journal of Nursing Science	21	4	e12623	2024. 9

III 論文 (その他：総説、報告等)

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
仲田 琴美、光井 綾子、 高橋 博子、仲田 由美	自己血糖測定演習におけるICTを活用した授業デザインの効果と課題-事前学習に代替品を用いた手技の自己動画撮影を取り入れて-	愛媛県立医療技術大学紀要	21	1	24-30	2024.12

V 学会発表 (国内学会)

研究者名	演題	発表学会名	開催地	開催日
牛山 愛友、中西 純子、 松井美由紀	AYA世代乳がん患者への支援に関する文献レビュー	日本看護研究学会 第50回学術集会	奈良市	2024. 8 .24 -25
石川 由美、田中 昭子、 入野 了士、田中美延里	ピア・コーチングを活用した県新任期保健師の現任教育の可能性	令和6年度四国公衆衛生研究発表会	松山市	2025. 2 . 7
横山 凛、井上千沙希、 野本 亜子、松井美由紀、 仲田 由美	術前の患者心理に沿った効果的な看護介入に関する文献検討	日本看護研究学会第37回中国・四国地方会学術集会	松山市	2025. 3 . 9

VI 講 演

講演者名	演 題	会 等 の 名 称	開催地	開催年月日	対 象 者
松井美由紀	看護過程と看護記録Ⅰ【基礎編】	令和6年度公益社団法人愛媛県看護協会	松山市	2024.6.1	愛媛県内の看護職員
松井美由紀	人材育成Ⅰ	令和6年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル	松山市	2024.6.20 -21	愛媛県内の認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者
松井美由紀	看護過程の展開Ⅰ（基礎編）	令和6年度県立病院看護職員合同研修	松山市	2024.8.5 2024.9.12	愛媛県立病院看護職員
松井美由紀	看護過程の展開Ⅱ（実践編）	令和6年度県立病院看護職員合同研修	松山市	2024.9.4 2024.12.24	愛媛県立病院看護職員
松井美由紀	がん患者の意思決定を支えるケア	令和6年度 がん看護実践能力向上研修会 Web研修会	松山市	2024.9.6	愛媛県内のがん看護実践能力向上研修会受講者
松井美由紀	実習指導の原理と実際	令和6年度保健師助産師看護師実習指導者講習会	松山市	2024.10.1 -2	愛媛県内の看護職員
松井美由紀	看護職の生涯学習支援に関する情報交換会「生涯学習支援」	令和6年度公益社団法人愛媛県看護協会	松山市	2024.12.5	愛媛県内の看護職員
松井美由紀	看護過程と看護記録Ⅱ【実践編】	令和6年度公益社団法人愛媛県看護協会	松山市	2024.12.11	愛媛県内の看護職員

基礎検査学

II 論文 (原著)

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
Yoshitake Baba, Takanobu Takihara, Noritaka Okamura	Matcha Does Not Affect Electroencephalography during Sleep but May Enhance Mental Well-Being: A Randomized Placebo-Controlled Clinical Trial	Nutrients	16		doi:10.3390/ nu16172907	2024. 8

V 学会発表 (国内学会)

研究者名	演題	発表学会名	開催地	開催日
田野ゆづき、荒川 裕也、 土屋 優里、松田 莉奈、 宮原穂乃佳、角崎 歩、 山田 武司	ヒストン脱メチル化酵素 Phf 2 の T 細胞免疫応答における役割 と Phf 2 欠損による抗腫瘍活性 への影響	第22回四国免疫フォーラ ム	今治市	2024. 6 .15
藤井 萌、横田 憲治、 美間 健彦	ArcB/ArcA 二成分制御系による Vibrio alginolyticus 遊走制御機 構の解析	第97回日本細菌学会総会	札幌市	2024. 8 . 7 - 9
松下 治、美間 健彦、 Adjoa Bonsu、沖 大也、 増田 亮、小出 隆規、 山下 隼人、河原 一樹、 Joshua Sakon	細菌性コラゲナーゼの構造・動 態と基質水解機構の解析	第97回日本細菌学会総会	札幌市	2024. 8 . 7 - 9
田野ゆづき、荒川 裕也、 土屋 優里、松田 莉奈、 宮原穂乃佳、安川 正貴、 山田 武司	Enhancement of T cell antitumor activity by suppressing histone demethylase Phf 2	第83回日本癌学会学術総 会	福岡市	2024. 9 .19 -21
藤井 萌、横田憲治、 美間 健彦	Vibrio alginolyticus の ArcB/ArcA 二成分制御系による側鞭毛関連 遺伝子の発現調節機構の解析	第77回日本細菌学会中国 ・四国支部総会	岡山市	2024.10. 5 - 6

研究者名	演題	発表学会名	開催地	開催日
美間 健彦、日野千恵子、 後藤 和義、山本由弥子、 松下 治	Vibrio alginolyticus の Lrp による sRNA 1 発現調節機構の解析	第77回日本細菌学会中国 ・四国支部総会	岡山市	2024.10.5 -6
武部 克希、美間 健彦、 沖 大也、河原 一樹、 松下 治	細菌性コラゲナーゼの基質ほぐ し及び切断機構について	第77回日本細菌学会中国 ・四国支部総会	岡山市	2024.10.5 -6
山元 修成、中山日菜子、 福岡 威人、河井 友来、 藤井 萌、渡辺 彰吾	疾患併発性サルコペニア発症 前後における SHRSP 5 /Dmcr ラットの血中分岐鎖アミノ酸濃 度の変化	第11回日本サルコペニア ・フレイル学会大会	東京都	2024.11.2 -3
田野ゆづき、荒川 裕也、 土屋 優里、松田 莉奈、 宮原穂乃佳、角崎 歩、 安川 正貴、山田 武司	The role of histone demethylase Phf 2 in T cell immune responses and effect of Phf 2 deficiency on antitumor activity	第53回日本免疫学会学術 集会	長崎市	2024.12.3 -5
濱 智子、田中 聖至、 苅部 洋行	感覚処理感受性と情動認知の関 連性：VR 課題による検証	第27回日本ヒト脳マッピ ング学会	東京都	2025.3.7 -8
Noritaka Okamura	The shifts of S-T segment on the electrocardiogram in ischemic heart disease cannot be explained by injury current	APPW2025	千葉市	2025.3.17 -19

生 体 情 報 学

II 論文 (原著)

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
Mayumi Hangai, Takahisa Kawaguchi, Masatoshi Takagi, Keitaro Matsuo, Soyoungh Jeon, Charleston W.K. Chiang, Andrew T. Dewan, Adam J. de Smith, Toshihiko Imamura, Yasuhiro Okamoto, Akiko M. Saito, Takao Deguchi, Michiaki Kubo, Yoichi Tanaka, Yoko Ayukawa, Toshinori Hori, Kentaro Ohki, Nobutaka Kiyokawa, Takeshi Inukai, Yuki Arakawa, Makiko Mori, Daisuke Hasegawa, Daisuke Tomizawa, Hiroko Fukushima, Yuki Yuza, Yasushi Noguchi, Yuichi Taneyama, Setsuo Ota, Hiroaki Goto, Masakatsu Yanagimachi, Dai Keino, Kazutoshi Koike, Daisuke Toyama, Yozo Nakazawa, Kozue Nakamura, Koichi Moriwaki, Yujin Sekinaka, Daisuke Morita, Shinsuke Hirabayashi, Yosuke Hosoya, Yuri Yoshimoto, Hiroki Yoshihara, Miwa Ozawa, Shinobu Kobayashi, Naho Morisaki, Tshewang Gyeltshen, Osamu Takahashi, Yukinori Okada, Makiko Matsuda, Toshihiro Tanaka, Johji Inazawa, Junko Takita, Yasushi Ishida, Akira Ohara, Catherine Metayer, Joseph L. Wiemels, Xiaomei Ma, Shuki Mizutani, Katsuyoshi Koh, Yukihide Momozawa, Keizo Horibe, Fumihiko Matsuda, Motohiro Kato, Atsushi Manabe, and Kevin Y. Urayama,	Genome-wide assessment of genetic risk loci for childhood acute lymphoblastic leukemia in Japanese patients.	Haematologica	109	4	1247-1252	2024. 4
Sho Hosokawa, Yoshiaki Norimatsu, Takeshi Nishikawa, Hisae Suzuki, Tetsuji Kurokawa, Akiko Shinagawa, Kenji Yanoh, Yoshinobu Maeda, Tadao K Kobayashi, Franco Fulciniti	Staining Pattern of Alcian Blue in Endometrial Cytology: Utility in Distinguishing Grade 1 -Endometrial Endometrioid Carcinoma from Endometrial Glandular Stromal Breakdown	Journal of Cytology	41	2	110-115	2024. 4

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
Hisae Suzuki, Yumeno Kondo, Chihiro Oda, Takeshi Nishikawa, Mao Takeuchi, Shigenobu Tatsumi, <u>Sho Hosokawa</u> , <u>Satoshi Irino</u> , Tomoko Uchiyama, Tomomi Fujii, <u>Yoshiaki Norimatsu</u>	Can Mitotic Figures in Hyperchromatic Crowded Groups be Cytodiagnostic Criteria for High-Grade Squamous Intra-epithelial Lesions?	Journal of Cytology	41	2	116-122	2024. 4
<u>Sho Hosokawa</u> , <u>Yoshiaki Norimatsu</u> , Akiko Shinagawa, Tetsuji Kurokawa, Yoshio Yoshida, Takeshi Nishikawa, Hisae Suzuki, <u>Satoshi Irino</u> , Tadao K Kobayashi	Assessment of the localization of chondroitin sulfate in various types of endometrial carcinoma	Plos One	19	5	e0304420	2024. 5
Shintaro Yamanaka, Keiko Tanaka, Masao Miyagawa, Teruhito Kido, Shinji Hasebe, Shoichiro Yamamoto, Tomomi Fujii, <u>Kazuto Takeuchi</u> , Yoshihiro Yakushijin	Distinguishing Axillary Lymphadenopathy after COVID-19 Vaccination from Malignant Lymphadenopathy	Journal of Clinical Medicine	13	12	3387	2024. 6
高岡 将彦、山本 英一、 杉海 秀、吉田安友子、 河邊 美香、森谷 友造、 永井 功造、河上 早苗、 中野 直子、 <u>石田也寸志</u>	当院入院中に血液培養陽性となった末梢静脈カテーテル関連血流感染症4例の検討	愛媛県小児科医会雑誌	5	1	20-25	2024. 8
<u>細川 翔</u> 、 <u>則松 良明</u>	高分化型類内膜癌における間質構成細胞の免疫組織化学的評価	愛媛県立医療技術大学紀要	21	8	18-23	2024.12

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
小田 千寛、重松由美恵、 近藤ゆめの、 <u>細川 翔</u> 、 <u>入野 了士</u> 、 <u>祇園 由佳</u> 、 岡村 法宣、西川 武、 <u>則松 良明</u>	術中迅速細胞診における BDサイトリッチ™レッ ド保存液の応用 – 標本 作製時間の短縮を目指し て–	愛媛県立医療 技術大学紀要	21	2	7-12	2024.12
近藤ゆめの、鈴木 久恵、 小田 千寛、 <u>細川 翔</u> 、 <u>入野 了士</u> 、 <u>祇園 由佳</u> 、 西川 武、 <u>則松 良明</u>	核分裂像の視認において、 なぜ、免疫細胞化学染色 はパパニコロウ染色より も容易なのか？–色素学 的な要因からの考察–	愛媛県立医療 技術大学紀要	21	1	1-6	2024.12
鈴木 久恵、小田 千寛、 近藤ゆめの、竹内 真央、 龍見 重信、 <u>細川 翔</u> 、 内山 智子、 <u>則松 良明</u>	核分裂像2個以上/対物 40倍視野に注目したHCG の観察はHSIL診断の手 がかりになり得るか？ –リン酸化ヒストンH3 免疫染色による実用的な 運用を目指して–	医学検査	74	1	45-57	2025.1

Ⅲ 論文（その他：総説、報告等）

著者名	論文名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
林 三枝、 <u>石田也寸志</u>	小児がん経験者の就労支援に対するNPO活動	日本小児血液・がん学会雑誌	61	2	135-143	2024. 7
<u>瀬戸 裕一</u> 、 <u>仲田 琴美</u> 、 <u>宮宇地秀代</u> 、 <u>矢野 弘子</u> 、 <u>荒川 裕也</u> 、 <u>入野 了士</u> 、 <u>高田 智世</u> 、 <u>竹内 一人</u> 、 <u>山田 武司</u> 、 <u>則松 良明</u>	歩行運動の効果測定に血液検査を取り入れた 保健事業の官学協働での進め方	愛媛県立医療技術大学紀要	21	1	38-45	2024.12

Ⅳ 学会発表（国際学会）

研究者名	演題	発表学会名	開催地	開催日
Hayashi M, Inoue F, Ogawa J, Kamibeppu Y, Hirose K, Sasazaki Y, Shoji Y, Takeuchi K, Boku N, Takahashi K, <u>Ishida Y</u>	Heart-Link Mutual Aid Income and Expenditure Based on Examination of Childhood Cancer Survivors that Received Hospitalization Benefits	56th congress of the international society of paediatric oncology (SIOP) 2024	Honolulu, USA	2024.10.17 -20

V 学会発表（国内学会）

研究者名	演 題	発表学会名	開催地	開催日
石田也寸志	小児がん経験者の晩期合併症とトランジションの課題	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	浜松市	2024.6.7 -9
鈴木 久恵、小田 千寛、 近藤ゆめの、西川 武、 竹内 真央、龍見 重信、 細川 翔、内山 智子、 則松 良明、吉澤 明彦	子宮頸部BDシュアパスTM法におけるASC-HとHSILの鑑別	第65回日本臨床細胞学会総会（春期大会）	大阪市	2024.6.7 -9
細川 翔、則松 良明、 祇園 由佳、矢納 研二	LBC保存液における子宮内膜細胞の保存条件が抗原保持能力に与える経時的影響	第65回日本臨床細胞学会総会（春期大会）	大阪市	2024.6.7 -9
近藤ゆめの、則松 良明、 細川 翔、祇園 由佳、 西川 武、鈴木 久恵、 竹内 真央、龍見 重信、 内山 智子、吉澤 明彦	子宮頸部擦過細胞診において核分裂像の出現はHSIL診断の手掛かりとなり得るか	第65回日本臨床細胞学会総会（春期大会）	大阪市	2024.6.7 -9
小田 千寛、則松 良明、 細川 翔、祇園 由佳、 西川 武、鈴木 久恵、 竹内 真央、龍見 重信、 内山 智子、吉澤 明彦	「核分裂像2個以上／HPF」に注目した標本の観察は、HSIL診断の手がかりになり得るか？	第65回日本臨床細胞学会総会（春期大会）	大阪市	2024.6.7 -9
大澤久美子、百瀬 修二、 錦織亜沙美、 西村碧フィリーズ、 祇園 由佳、沢田 圭祐、 東守 洋、得平 道英、 田丸 淳一、佐藤 康晴	免疫不全/調節異常を基盤として生じた古典的Hodgkinリンパ腫における9p24.1領域の解析	第64回日本リンパ網内系学会学術集会	東京都	2024.6.27 -29
近藤ゆめの、小田 千寛、 則松 良明、細川 翔、 祇園 由佳、西川 武、 鈴木 久恵、竹内 真央、 龍見 重信、内山 智子、 吉澤 明彦	核分裂数2個以上／対物40倍視野に注目した標本の観察はHSIL判定の手がかりになり得るか（その1）	日本臨床細胞学会 中国四国連合会会報	高松市	2024.7.27

研究者名	演 題	発表学会名	開催地	開催日
小田 千寛、近藤ゆめの、 則松 良明、細川 翔、 祇園 由佳、西川 武、 鈴木 久恵、竹内 真央、 龍見 重信、内山 智子、 吉澤 明彦	核分裂数2個以上／対物40倍 視野に注目した標本の観察は HSIL判定の手がかりになり得 るか(その2)	日本臨床細胞学会 中国四国連合会会報	高松市	2024. 7 .27
副島 堯史、佐藤 伊織、 小林 京子、上別府圭子、 大園 秀一、石田也寸志、 他	ALL-Ph13 においてイマチニ ブ・ダサチニブを使用した急性 リンパ性白血病患者のQuality of Life の推移	第66回日本小児血液・が ん学会学術集会	京都市	2024.12.13 -15
早川 晶、嘉田 晃子、 石田也寸志、 山口(中上)悦子、 未延 聡一、他	小児血液腫瘍性疾患を対象とし た二次がん発症に関するケー スコントロール研究 (JACLS SN17)	第66回日本小児血液・が ん学会学術集会	京都市	2024.12.13 -15
山中伸太郎、田中 景子、 宮川 正男、城戸 輝仁、 長谷部晋士、山本将一朗、 藤井 知美、竹内 一人、 薬師神芳洋	COVID-19ワクチン接種後のリ ンパ節腫大とがん転移を鑑別す るための後方視的検討	第22回日本臨床腫瘍学会 学術集会	神戸市	2025. 3 . 8
瀬戸 裕一、仲田 琴美、 矢野 弘子、宮宇地秀代、 荒川 裕也、入野 了士、 高田 智世、竹内 一人、 山田 武司、則松 良明	歩行運動の効果測定に血液検査 を取り入れた保健事業の官学協 働での進め方	一般社団法人日本看護研 究学会中国・四国地方会 第37回学術集会	松山市	2025. 3 . 9
高田 智世、谷口 香、 山崎 雪恵、三浦 雅布、 宮石 智	鼻汁斑の証明における Odorant- binding Protein 検出の有用性	令和6年度瀬戸内法医診 断研究会	岡山市	2025. 3 .18

VI 講演

講演者名	演 題	会 等 の 名 称	開催地	開催年月日	対 象 者
石田也寸志	小児・AYAがんの実態 ー小児・AYA世代がんのサ バイバーシップー	令和6年度大学コン ソーシアムえひめ共同 授業	松山市	2024.8	愛媛在住の大学生
石田也寸志	小児がんの長期フォローアッ プ	岡山大学病院小児医療 センター主催市民公開 講座	岡山市 (Web)	2024.9	小児がん経験者・ 保護者など一般市 民
石田也寸志	小児抗菌薬適正使用加算のイ ンパクトー最近の小児感染症 の話題ー	令和6年度第2回外来 感染症対策向上加算に 係るカンファレンス	松山市 (ハイブ リッド)	2024.11	愛媛県医師会員
石田也寸志	自立支援事業と移行期医療	令和6-8年度補助金 (難治性疾患等政策研 究事業(難治性疾患政 策研究事業))小児慢 性特定疾病児童等の自 立支援に資する研究 (檜垣班)	松山市 (ハイブ リッド)	2025.2	一般市民

VII その他の報告

著 者 名	題 名	発表雑誌名	巻	号	頁	発表年月
入野 了士、岡村 法宣、 瀬戸 裕一、則松 良明、 竹内 一人、高田 智世、 祇園 由佳、宮宇地秀代、 高橋 博子、仲田 琴美、 矢野 弘子	eスポーツ地域生きがいつく り推進事業効果測定実施およ び検証結果報告	2024(令和6)年 度eスポーツ地 域生きがいつく り推進事業効果 検証報告書			1-27	2025.3